事例No.	2127
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	徳島県

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・教育・子育て ・ICT

事例種類	文化・スポーツ

事例内容・タイトル

年齢・性別・国籍・障がいの有無等に関わらず、誰もが楽しめるｅスポーツの普及促進

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

147 年齢・性別・国籍・障がいの有無等に関わらず、誰もが楽しめるeスポーツの普及促進【徳島県】

事業の概要

○ 徳島県では、「年齢」「性別」「国籍」「障がいの有無」等に関わらず、誰もが楽しむことができる「eスポーツ」を活用した交流機会の創出に取り組んでいる。

○ 令和2年度からは、コロナ禍での安心安全な交流機会創出のため、全国の障がい者施設等を対象としたオンラインによる「eスポーツ」の大会を開催。

○ また、障がいのある方と、在住外国人や子ども、高齢者が「eスポーツ」を通じて交流を行う「eスポーツ体験・交流会」を開催。「eスポーツ」を核とした障がい者の自己実現や社会参加を促進し、ダイバーシティ社会の推進を図っている。







【参考情報①】 人口：73.5万人
関連URL：
https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kyoiku/bunka/5043410/

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



新型コロナウイルス感染症の影響で、障がいのある方のスポーツや文化を通した交流機会が失われている中、感染リスクを高めないオンラインを活用した「eスポーツ」の大会を開催することで、障がい者間及び障がいのある人とない人との交流機会を創出することを目的にスタートしました。

（徳島県）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和2年度は、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施しました。
令和3年度からは、内閣府の地方創生推進交付金を活用しています。



事業の効果を教えてください。



全国各地の障がい者施設の皆様が大会に参加してくださっており、普段なかなか関わることが出来ない全国の施設間の交流機会となっています。
また、本大会での入賞を目標の一つとして練習されている施設もあり、障がいのある方の自己実現の場となっています。

★担当：徳島県未来創生文化部 ダイバーシティ推進課★

令和3年度事業費　1,400千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府）　700千円）